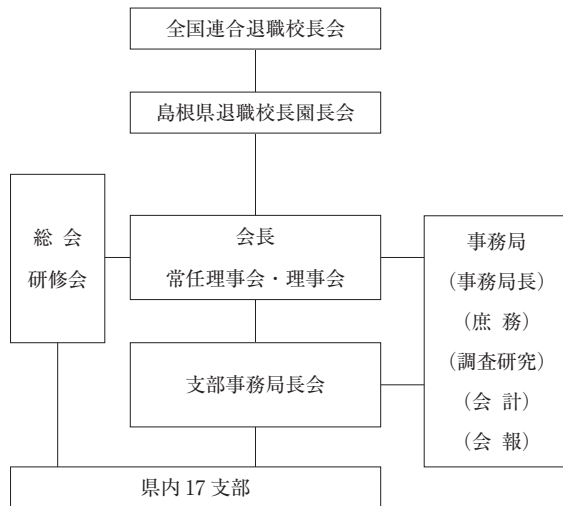


島 根 県 島根県退職校長園長会

結成 昭和40年 7 月



1. 島根県退職校長園長会組織図・歩み

- 昭和40年 7 月、小・中・高、退職校長400名で「島根県退職校長会」を結成。
- 昭和51年、準会員制を設け、義務教育関係学校長全員加入、同年、公立幼稚園退職園長数名加入。組織名を「島根県退職校長園長会」と改める。
- 平成15年県立高等学校長・特殊教育諸学校長の全員が準会員として加入。組織が一段と拡充された。
- 市町村合併により、支部数は19から17支部に減少したが、組織・活動の改善を図りながら、平成27年度、創立50周年を迎える。

2. 島根県退職校長園長会の活動紹介

- (1) 研修会…東西に長く、北には隠岐諸島がある本県各地で、輪番制により年1回研修会を開催している。各支部から会員が参集し、近年では、隠岐支部主催の「世界ジオパーク登録」の研修、安来支部主催の美しい庭園「足立美術館」での研修、簸川支部主催の遷宮「出雲大社」の研修を行った。
- (2) 現職退職校長園長連絡会…各支部において、現職校長との懇談会を実施しているが、事務局も、幼、小、中、高、特の現役校長会長との懇談会を行っている。本会の取り組みを伝えるとともに、各校種が抱えている課題や、取り組みの実情を知る機会となっている。
また、県教育長と教育委員会、本会会長、事務局員の懇談会も実施している。
- (3) 支部との懇談・・・各支部の実情を知り、また課題等を知る機会として、会長が、毎年、県下2支部を訪問している。9年目となり、この支部訪問も2巡目となっている。

調査研究では、毎年、中国地区退職校長連絡協議会で、支部の活性化をテーマに各支部の取り組みについて発表してきた。地域の偉人を冊子にまとめ、学校教材に提供している支部や、人材バンクをまとめ、地域教育の協働化に尽力している取り組みなど、本会の活動状況について、まとめている。



研修会の様子



現職校長との連絡会